



ミクロネシア NEWS

2019年1月28日第5号
JICA 青年海外協力隊
ミクロネシア連邦派遣
小学校教育隊員
磯崎 春美(中野区立江原小学校)

江原小のみなさん、明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。みなさん、お正月は書初め、羽子板やかるたなどの日本の遊びを楽しみましたか。また、おせちやお雑煮も食べましたか。

ポンペイ島では、お正月はこれを食べる！という料理は特にありません。お正月の過ごし方も日本とは全く違いました。例えば…新年になった瞬間から爆竹が町中で鳴り響きます。

そしてお正月の数日間は、トラックの荷台に乗った子どもたちがラッパを吹いたり、水鉄砲で水をかけたりします。

すごく騒がしい新年で、とても驚きました。

しかし、普段会えない家族や親戚のところへ訪れて新年のあいさつをしているのは日本と同じだなと感じました。



今回のミクロネシアニュースは「長田先生がミクロネシア、ポンペイ島に来島！」特集です。12月28日から31日の4日間、いろんな場所を案内しました。私自身もポンペイの素晴らしさを再発見することができました。

1日目 市内観光

1日目のスケジュール

- 13:30 空港着
- 14:00 ホテルへ
たくさんのお土産にびっくり！
- 15:00～ 観光局オフィス、戦車見学
カピングマランギ村
ローカルマーケット
お土産屋さん
- 17:00～ 私の通勤路を歩いておしゃべり
- 18:30～ ラーメン屋さんで夕食



空港についた長田先生を協力隊の仲間と歓迎しました。お迎えする時にはマラマルと呼ばれる花かんむりを渡すのが現地の慣習です。ホテルに着くと長田先生や他の江原の先生からたくさんのお土産をいただきました！並べてびっくり！優しさに感動しました。

そして町中へ。

(写真左)カピングマランギ村では固いやシの実から作ったハンディクラフトが有名です。職人さんが作業をしているところを見学しました。

(写真左)わたしの通勤路を歩いてラーメン屋さんへ向かいました。景色のいい場所を紹介しました。橋から山や海が見える場所で、いつもここでパワーをもらっています。



2日目 レンゲル島

2日目はレンゲル島へ行きました。レンゲル島は第一次世界大戦の時に日本軍がポンペイを占領し、巨大要塞を構築して米軍の攻撃に備えた場所です。そのため、日本軍が建設したトンネル、重油タンク、水上飛行基地、滑走路などが今でも残っています。特に水上飛行基地は米軍の爆撃で破壊された後、修復され1970年までポンペイ空港として使われていました。

当時の日本の技術に驚くとともに、ポンペイを支配していた日本の姿、ここで戦争が起きていたことを改めて感じました。写真は今もなお残る重油タンクの写真です。射撃された穴から光が差し込んでいます。



3日目 滝、遺跡めぐり

3日目はポンペイの有名な観光地を巡りました。まずはケプロイの滝、そして世界遺産に登録されているナンマドール遺跡へ。浦島太郎伝説の竜宮城であったとの説もあります。その後は近くの砲台跡を見学し、ポンペイを一周してホテルのあるコロニア市内にもどってきました。



4日目 小学校見学、帰国

最終日は長田先生のリクエストを受けて私が勤務しているネッチ小学校の見学に行きました。働いているオフィスや完成したばかりの体育館を見てもらいました。その後は市内に残る戦車の見学。戦車がある敷地を所有しているスーパーへ行き、発掘された当時の遺物の展示を見ました。(何台もの戦車が並べられています。)



長田先生と過ごした4日間

4日間、ポンペイの自然を満喫してもらいました。私も見慣れてしまった景色や歴史的な遺産の素晴らしさを再発見することができました。同じようにみなさんが住んでいる地域にも素晴らしい場所や景色があります。伝統文化や景色、古い建物など…みなさんが中野をガイドするとしたらどこを紹介したいですか？

そして戦車や基地の跡を見学し、日本軍がポンペイを支配し、軍の基地化を行っていたことを肌で感じる事ができました。世界には日本とのつながりをもつ場所が多くあります。今回の旅を通して、もう一度ポンペイと日本の歴史について学ぼうと思いました。